

# 家庭学習の手引き：5年生

## 主体的に学ぶ力を身につけよう



家庭学習では、自分から学習していく姿勢・習慣を身に付けていきます。テストに向けて自分の力を確かめたり、授業の内容を発展させたりする「自主学習」や、自分に必要な前学年の復習をしたり、基礎基本を定着させたりするための「繰り返し学習」に取り組みます。



### 5年生では・・・

インターネットやスマホ・ゲーム・テレビ等のメディアに対する依存度が高くなる傾向があります。生活リズムの乱れは、学習意欲にも影響を及ぼします。計画的に学習を進めるためにも、生活習慣を見直すことが大切です。

また、自分自身で判断し行動することが増えるとともに、自分の得意な学習や課題が少しずつ分かるようになってきます。

### 学習の特徴

- ◇高学年は、家庭科や外国語等教科が多く、各教科の学習内容も多くなります。前学年までの既習の内容を復習する時間も必要となります。
- ◇各教科では、自ら目標を定め、達成に向けて自分に必要な学習を判断し主体的に学ぶ力を育てていきます。
- ◇答えが一つではない課題に対して、得た知識や技能を活用して自分なりの答えを導き出すことも経験していきます。
- ◇筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ◇タブレット端末を用いて調べ学習を進めたり、自分の考えを説明する際の資料を作ったりします。タブレット端末の基本的な操作ができ、自分の学習に応じて活用する力を育てていきます。
- ◇友だちと自分の考えを伝え合うことで、解を見つけるだけでなく、多様な解き方や考え方を理解しその良さを見出すなど、自らのものの見方や考え方を広げていきます。



## 家庭学習を始める前に

- ◇勉強する場所を決めましょう。
- ◇勉強をする場の整理整頓をしましょう。(タブレット端末や地図帳や辞典等をそばに置く)
- ◇テレビや動画等を消して,静かな環境を作りましょう。
- ◇家庭学習の内容を自分の学習状況や目標や課題に合わせて計画を立てましょう。
- ◇学習時間を決めて時間いっぱい集中して取り組みましょう。

## 家庭学習の内容

自分に必要な教科・内容・量を,自分で考えて決め,学習する。

### 例えば…

- ★小数や分数等の計算は,前学年までの既習事項の定着が必要なので,自分で理解が十分できていないと思う内容を,前学年の教科書やドリルを使って復習する。
- ★既習の漢字,新出漢字,言葉を用いて,文や文章(意見文等)を書いて定着を図る。
- ★授業で取り組んだ課題に対し,自分の考えをもう一度まとめたり,自分とは違う考えの友達の意見をまとめたりする。
- ★テストに備えて,テスト範囲の復習をする。
- ★テストや授業で,できなかった問題や苦手なことをくりかえし練習する。
- ★次の授業で学習する内容を,教科書をもとに確認し,自分の考えをまとめる等,予習に取り組む。
- ★授業で学習した内容に関連することを,インターネットや新聞,図書資料等で調べ,深める。
- ★授業で取り組んだ課題を発展させたり,身の回りに活用したりする。

